



港区★中学生news



港区の公立中学校に通う中学生のみなさん、こんにちは。港区長の山口照美です。卒業式が終わり、中1・2年のみなさんもこの1年をふりかえるタイミングですね。「できるようになったこと」を数えてみよう！

「大好きな港区で住み続けるために」～災害に備えよう～

1月末に、築港中学校と港中学校を令和9年に1つの学校に再編する計画が、決定しました。自分の学校を大事に思う生徒のみなさんや、保護者・地域のみなさんに申し訳ない思いもありますが、部活動や行事が成立しづらくなってきており再編することとなりました。令和11年には池島・港晴・八幡屋小学校も1つになります。これから、新しい学校をどんな学校にするか、それぞれの今の学校での時間を最高の時間にするサポートをどうするか、学校と相談しながら区役所や教育委員会も考えていきます。

大阪市の24区の中で、港区の子どもが減ってしまった理由の1つに「南海トラフ巨大地震の報道」があります。特に東日本大震災の後から、津波のリスクがあることで避けられるようになりました。しかし、日本中のどこにいても、地震大国で台風も多い日本は自然災害のリスクから逃れられません。

大事なのは「正しく備え、災害に対応できるようにしておくこと」です。

港区では中学2年生にジュニア防災リーダーとしての知識を身につけてもらっています。南海トラフ巨大地震が来たら、114分で津波がやってきます。周りが逃げなくても自分がまず3階以上に逃げる「率先避難者になる」ことをお願いします！

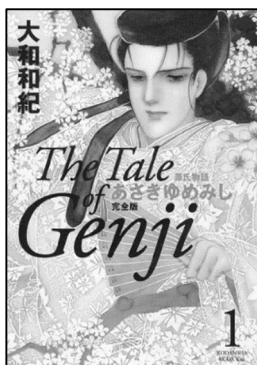
港区はみんなで備えているから、安心して暮らせる。「防災日本一のまち」を作しましょう！



読書のススメ

『あさきゆめみし』 大和和紀（講談社）

現在放映中の大河ドラマは「光る君へ」という紫式部と藤原道長を描いた物語です。史実で確認できない創作の部分も多いですが、策略に満ちたサスペンス要素もあり、胸キュン恋愛要素もありおすすめです。そして、紫式部が書いた壮大な『源氏物語』そのものも面白いのです！1000年前の日本人も恋をし、悩み、確かに「生きていた」ことがわかります。古典が苦手な人は、少女漫画の金字塔『あさきゆめみし』の美しい絵で読んでみてください。



ちょこっとNEWS

自分の家の近くの津波避難ビルは？
「**大阪防災アプリ**」を使おう！

自宅が1～2階の人は近くの津波避難ビルを探し、逃げられる先を探しておきましょう。また、外出時に地震が起こるかもしれません。そんな時は、「大阪防災アプリ」が役に立ちます！自分の居場所の近くにある避難ビルを地図上で示してくれます。英語・中国語・韓国語などにも対応しています。使ってみよう！



10代のための相談窓口まとめサイト

ミックス で 検索 <https://me-x.jp/>